

意見書

| |
|------|
| 教 科 |
| 図画工作 |

| |
|------|
| 種 目 |
| 図画工作 |

| |
|-------|
| 発 行 者 |
| 開隆堂出版 |

| 調査項目 | 意 見 | |
|--|-----|--|
| 1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか | (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてについて、全題材で資質・能力の3つの柱に対応し、3観点を3項目(1観点につき1項目)で示しており、中心となるめあてを下線と赤色で強調し、平易な言葉で示している。 |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞の5つの分野で題材が構成され、低学年～中学年～高学年に渡って、内容と育てたい力がバランスよく構成されている。 ・他教科のどの内容とつなげられるかが分かりやすく提案されており、カリキュラムマネジメントがしやすい。 |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学びを促す場面の写真が多く掲載され、授業のどのような場面で対話する場面を仕組むとよいか、分かりやすく示されている。 ・目的意識を持った造形活動、社会生活につながるような協働的な学びがより多く位置づけられている。 ・資質・能力の3つの柱に対応したキャラクターが各題材の活動のポイントを分かりやすく示している。 |
| 2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定) | (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県の伝統工芸に関わる陶芸、木工、和紙、版画などの題材や材料が設定されている。 ・岐阜県にゆかりのある作家として奥中章人 (Art Award IN THE CUBE2023 入選作家) (5・6年上) を取り上げている。 |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから製作の手順や掲載作品の動画を視聴できる。また、どんなコンテンツがあるかをより分かりやすく示している。振り返りシートもダウンロードできる。 |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの視点からみた造形作品や造形活動を、マークを使って題材に関連づけ示している。 ・「つながる造形」で学校生活や地域社会と、図画工作のつながりを示している。 |
| 3 印刷・製本等 | (1) | <ul style="list-style-type: none"> ・A4判再生紙を使用し、人体への影響が少ない植物性インキを使用している。 ・ページ64～69ページ、重さ248～261gで、扱いやすい。 ・1・2年、3・4年、5・6年、各上下巻となっており、各学年1冊ずつ使用することができ、使いやすい。 |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・表紙の題字、作品から楽しさが伝わる。 ・掲載作品に番号がついており、授業で示しやすい。 |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> ・「ひらめきショートチャレンジ」で発想・構想のトレーニングが位置付けられ、造形的な発想の方法(見方や考え方)が示されている。 ・巻頭に1年間の学習の見通し、巻末にこれまでの学習の振り返りができるページを配置している。 |

意見書

| |
|------|
| 教 科 |
| 図画工作 |

| |
|------|
| 種 目 |
| 図画工作 |

| |
|--------|
| 発 行 者 |
| 日本文教出版 |

| 調査項目 | 意 見 | |
|--|-----|---|
| 1 学習指導要領 (平成 29 年告示) ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか | (1) | <ul style="list-style-type: none"> 全題材で資質・能力の3つの柱に対応し、3観点を5項目で示している。表現と鑑賞を一体としてどの題材もとらえ、5項目に細分化して示し、評価規準の観点を正しく理解することができる。 |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> 造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞の5つの分野で題材が構成され、題材で扱われる材料や用具、それにかかわる技能が発達段階に合わせて位置付けられており、各題材で必要となる技能や作業量について、段階的に習得できるようによく配慮して配列されている。 |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> 協働的な学びを促す場面の写真が多く掲載され、授業のどのような場面で対話する場面を仕組むとよいか、分かりやすく示されている。 主体的な学びにつながるよう、「特に大切なめあてのヒント」と「鑑賞のヒント」をマークと文章で示している。 |
| 2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定) | (1) | <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県の伝統工芸に関わる陶芸、木工、和紙、版画などの題材や材料が設定されている。 岐阜県にゆかりのある作家として、クワクポリョウタ (IAMAS 教授) (3・4年下、P42~43) 渡辺泰幸「実の音」(1・2年下、P44) を取り上げている。 陶土(土粘土)を使った題材がより多く設定され、表現技法を多く取り入れている。 美濃和紙(水うちわ))(5・6年下、二次元コード)の魅力伝えるコンテンツがある。 |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> 二次元コードを読み取ると、製作の手順や用具の使い方、掲載作品の動画が視聴できる。また、どんなコンテンツがあるかを端的に示している。 |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> 「広がる図工」(3・4年上以降)で地域、環境、ユニバーサルデザイン、平和などSDGsの観点と図画工作科とのつながりについて示されている。 「つながる図工」が全学年裏表紙に掲載され、様々な人とのつながりが示されている。 |
| 3 印刷・製本等 | (1) | <ul style="list-style-type: none"> A4判再生紙を使用し、人体への影響が少ない植物性インキを使用している。 ページ数64~68ページ、重さ232~246gで扱いやすい。 1・2年、3・4年、5・6年、各上下巻となっており、各学年1冊ずつ使用することができ、使いやすい。 |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> 書体は、題材名など一部を除き、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 整理されたレイアウトで、すっきりした画面構成になっている。 |
| | (3) | <ul style="list-style-type: none"> 巻頭ページに図画工作科の学習の進め方がわかるページを配置している。「図工のみかた」で発想をふくらませる方法が示されている。 「友だちと作品を見て話そう」、「アートカード」では、学年に応じ、系統的に鑑賞の視点や方法が示されている。 |